

# ひろば大代

NO. 235

大代公民館



長寿百歳おめでとございます

上市 山根美佐子

後藤フサミ様 心身共に健やかに百歳を迎えられおめでとございます。心より御祝い申し上げます。

母百歳なればそれを支える娘も七十歳を越える老齢。膠原病の難病と闘いながら、お母様の面倒を見て居られます。老々介護の現実です。

戦時中木炭自動車時代。夫の事業を助け、養蚕飼育では八反田の鬼が峠の小高い桑畑の作業のご苦労。そして仲の良いおしどり夫婦だったと聞きしています。

何でも反対するご主人の気性を心得ておばさんは、やりたい事の反対を、「なあ父さん」と相談を持ちかけ主人を立てて物事を運ぶ、聡明なおばさんの夫操縦法です。

現在耳は遠いけれど目はよく見えていつ訪れても新聞や広告紙を読んで居られます。難しい漢字の読みをお聞きしても、素早く反応、記憶力は確かです。人の悪口は言わず、欲張らず、花を愛して穏やかな百歳の日々を送って居られます。

何かあれば歩いて五分の所に長女、自動車で三十分の場所に末娘、三人の娘とその家族に見守られこの上ない幸せと思います。昨年暮れに数人でお祝いの会を催し、ひと足早く正月の遊びに楽しい時を過ごしました。目を輝かせゲームに興じられる姿を見て、まだまだ大丈夫！と思いました。

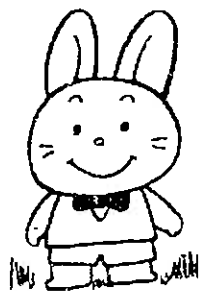
その折、田中様が詠まれた歌です。

百歳の幸せ祝ふ秋日和

上市 田中シズ子

今年はおぼくの年

五年 飯田祐輝



今年のおぼくの目標は、スポーツをがんばることです。

二月に卓球の大会がありました。その大会で、団体戦、シングルスともゆう勝することができました。この大会のためにいっしょうけんめい練習しました。努力すればできるということが分かりました。

次の目標として五月の連合運動会の千メートル走と、百メートル走をがんばりたいです。去年は、総合ではゆう勝できなかったもので、今年はずいゆう勝したいと思います。

それと、体操競技会を総合で五位以内に入りたいです。マットは去年パランスでミスをしたので今年も、ミスをしたくないように気をつけたいです。そして三位以内に入れるように練習をがんばりたいです。

今年は卯年

四日市 荒本貴和子



つい先年遷居を迎えたと思っておりましたら、あれから瞬く間に十二年。卯年の今年、七月で満七十二才になります。

昔は、「人生五十年」といわれていました。私が幼い頃には、五十才位の人はずっと年寄りに見えたものです。しかし、いざ自分がその年以上になつてみますと、よくもまあここまで、こうして元気に生かさせて頂いたものだと不思議な気がします。目には見えないうちのちを恵まれたことは有り難く、感謝せずにはおられません。

私達の世代の青春時代は、戦争により耐久生活を強いられました。戦時戦後の動乱の中で尊いのちを

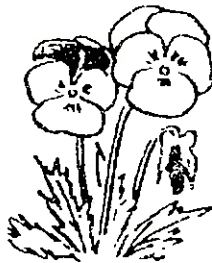
落とされた方々のことを忘れることはできません。

現在日本は大きな発展を遂げ経済的には豊かになりましたが、その反面、大切な何かを失ったものも多いと思っ  
ています。以前、賑やかだった町並みや人々の活気あふれる様子、心のあたたかさ等々、懐かしく思い出したりしています。

若い頃には大病をしましたが、おかげさまで只今は、どうにか元気で現役の坊主をつとめ、仏様のお給仕をさせてもらっています。いただきたいのちのある限り、みなさまに支えられながら、明るく歩みたいと思っております。

詩を読んで

関西高山会事務局長 中本 弘



S新聞の「朝の詩」月間賞の受賞作品を読み、感動するとともに掲載された詩を紹介し、私の所感を述べたい。

「一緒」

夜が明ければ、太陽と一緒に  
月夜の晩には、お月さんと一緒に  
お月さん出ぬ夜は、星達と一緒に  
失恋したって、自分と一緒に  
何があっても、地球と一緒に  
あなたが死んだら思い出と一緒に  
私が死んでも、神さんと一緒に  
寂しい時も悲しい時もふり向けば  
多分何かと一緒に

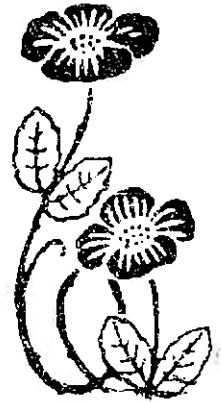
さて、人間は生まれる時と死ぬ時は一人。これは自然の摂理である。また生きるうえで誰にも喜怒哀楽があるが、中でも哀、寂しさからくる孤独感・孤立感を感じることの多いのも世の中である。そこでみんな一人じゃない、自然万物により生かされているのだという、気持ちをしでもお伝えできればと思ひ紹介した。

この詩を読んでいただき、誰かの力づけになれば望外の幸せである。



俳句選歴

大田市久手 原田萬里



私の小学校時代（昭和十四〜五年）は明治天皇の御製の朗唱で学校生活が始まっていた。当時の国語の時間に俳句や短歌を学んだことが私の心情を揺さぶったのであろう。その頃は戦時下ですっかり忘却していたが、敗戦直後の昭和二十一年出雲農事試験場に在籍した頃、俳句を嗜んでおられた場長の元に同好者が集まり俳句を楽しんでいた。

その頃俳句誌「高山」を主宰しておられた山口水士英氏に添削をお願いしたこともあるが長続きはしなかった。蛙鳴く田毎の月にもどりけり 17才

昭和二十四年島根大学浜田分校に在学した時は俳句クラブに属し、夜間女子寮一室で句会を開き互いに研鑽したものである。

軒くぐる猫の影日足のよ 21才  
教員免許を取得してからは教育に没頭？して俳句のことは意識の底に沈んでいったのである。

しかし昭和五十年代初期に跡市小学校に勤務することになり、そこで俳人である駐在巡查と懇意になり、ホトトギス同人の能美丹詠氏の主宰する「夕焼」に入会、再び俳句の道を歩み始めたのである。

ふる里は藍より碧き秋の空 50才  
その頃から母を主題に百句詠むことを目標に創作活動に励んだが七十句位のとぎ母は八十八才で逝った。蒸し暑い梅雨の時期であった。

梅雨空に母昇天の煙ゆく 52才  
これが母へ贈る最後の句となったのである。母の墓石の横に檜の柱へ墨書して立てた句碑。

母のこと思ふ夜なり螢飛ぶ  
は白蟻に喰われ、今はその柱は無い。  
平成八年、大代の「あすなる」句会三十周年記念事業に参画したのが縁でその会員となり、毎月一回久手から大代まで足を運び楽しんでる。

「石見」の会員になってから未だ二

年、七十才の年齢を考えると高望みをせず、ふる里の「あすなる」句会に貢献できそこに生きた証が残されれば望外の幸せである。



「大代バイパス」前へ進む  
建設委員会事務局長 市原仁郎

平成八年度より進められてきた「大代バイパス」は水質・基本・実施設計と境界立ち会いも終わり、用地買収へと進んでいます。

一月十八日、十九日、二月九日、十八日に地権者と県土木との合合が開催され、用地買収契約書の締結について事務的な交渉が行なわれています。

このバイパスは長さ千七百五十m、道幅は十m（車道は六m、舗道は二・五m、後は路肩）です。

今年度（平成十年度）に用地買収を

経て、来年度から工事にかかるとの県の方針ですので地元としては協力をし、次の祖式、大代間の改良工事に取り組みたいと考えています。

この度の地権者は六十名ですが、町外に住んでいる方や、相続が済んでいない方がおられ、登記が順調に進んでいないのが現状です。何とかこれをクリアーして次の課題に進みたいと考えています。

尚、工事は八反田地区より進めることになっていきます。



俳句

あすなる句会

着ぶくれて三々五々と下校の子  
漆黒の空冴え冴えと冬の月

大田市 原田萬里

寒明の風が頬打つ朝かな  
髪染めし香のまだ残り春寒し

下市 渡あやこ

小ねずみに呼び名をつけて春ごたつ  
芹の香や朝の食卓清々し

柿田 横手いちえ

寒明けや心の扉固きまま  
懐手出合がしらにほどきたり

八反田 森 信子

めつきりと口数へりし受験の孫  
婚約の成りし姉妹や春を待つ

橋 花田時子

寒の旅蛇皮縁みやげのバスの連れ  
寒明けに今年も富山の葉充り

下市 今田文字

娘等嫁ぎ老いつ家守る去年今年  
戸を繰れば梅の香りのなだれ込む

上市 笹田サチエ

春寒や行く人も無し過疎の町  
和を祈る摩文仁の丘の風は初夏

川上 岩田律枝

折芹の川を狭めて過疎進む  
宙吊りの電工小さし春隣

橋 柿丸寿枝

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
三月の行事予定  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*

◆ 1日(月) 福祉委員会

◆ 2日(火) J A 健康診断結果報告会

◆ 6日(土) 地域振興券交付  
公民館にて午前十時〜午後六時

◆ 7日(日) 婦人会総会

◆ 9日(火) ふれあい教室

◆ 14日(日) 福祉弁当

◆ 16日(火) 第三中学校卒業式

◆ 19日(金) 幼稚園卒園式

◆ 19日(金) 小学校卒業式

◆ 23日(火) 連合自治会

★ — ★ おしらせ — ★

◎ 社協大代支部より

上市 市原和秀様から

上飯谷 下垣公人様から

山田 階本誠一様から

香典返しにかえ金一封の御厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。